

「土岐市の在宅医療と介護」の冊子を全戸配布します

土岐市では、医療と介護の両方を必要とする高齢者の方が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を推進しています。

この度、在宅で医療や介護をどのように利用できるのかをまとめた「土岐市の在宅医療と介護」の冊子を全戸配布します。元気な時から「どんな医療を受けたいのか」「どこでどのように最期を迎えたいのか」について考えるきっかけづくりにも役立ててください。



健康管理から認知症、看取りまで

自宅などで暮らしながら治療や介護を受けている患者さんを在宅医療の専門職チームがサポートします。かかりつけ医のほか、看護師、リハビリ技師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、介護職員などが連携して在宅ケアを提供しています。

在宅医療・介護のメリット

住み慣れた家、使い慣れたベッドやトイレなど、今までのライフスタイルのままで病気などの治療を受けることができます。また、在宅による安心感など精神面への影響も大きく、入院治療より費用面で比較的経済的です。

問 高齢介護課（内線231）

認知症サポーター養成講座

認知症になっても家族や友人と一緒に安心して暮らせる街になることを目指して、認知症に関する正しい知識を学んでみませんか。

日時 4月23日(土) 午後1時30分～3時
場所 とき陶生苑ききょう
対象 土岐市在住、在学、在勤の方
定員 20人（先着順）
参加費 無料
持ち物 筆記用具
申込 4月15日(金)までに東部地域包括支援センター（☎⑤1560）へ申し込みください。

認知症カフェ

どなたでもご参加いただけます。また、専門職による個別相談もできます。お気軽にご参加ください。

日時 4月12日(火) 午前10時30分～11時30分
※どんぶりバスの運行時間に合わせて開催します。
場所 駄知公民館
定員 なし ※申込不要
参加費 無料 ※飲食の提供はありません。



問 東部地域包括支援センター（☎⑤1560）